

令和6年度 立川市校長会

I 活動方針・重点事項等

- 「まちづくりは人づくり、人づくりは未来づくり、未来づくりは学校から」
- 「チーム立川」として、情報共有・相互連携・協働を強化していく。
- 「立川市民科」の実践強化、ICT 活用の推進、特別支援教育の充実

II 活動・取組

- 1 定例校長会 市教委主催による校長会を年間 11 回実施。
*小学校 19 校 中学校 9 校 計 28 校合同で実施。
全体会終了後、中学校区毎の小会議、その後小中学校別の校長会を実施。
※meet による実施もある。
- 2 校長研修会 市教委主催による校長研修会を年間 2 回実施。
- 3 小中合同（本年度は別々）学校経営研修会 講演会、論文・面接指導。
- 4 市教委委託研究 4～5 名ずつで分科会を構成し、今日的な教育課題を研究する。
本年度研究主題「学校改善を推進する活力ある学校経営の在り方」
A 分科会：教育課程の工夫・実践 B 分科会：人権・福祉教育の推進
C 分科会：特別支援教育の推進 D 分科会：教員の指導・育成
- 5 校長会研究発表会 市教委委託研究に基づく研究内容について研究紀要を作成し、成果等を市教委関係者、副校長、主幹教諭等の幹部教員を対象に紙上発表する。
- 6 立川市立小学校教育研究会
全体テーマ「学力・体力向上を目指した授業改善」
研究部会 教科・領域で 18 の部会に分かれ、年間 8 回各部会を開催。
この他に各部会主催の夏季・冬季研修会を実施。

III 特色・特徴等

- 1 本市校長会は校長会や研修会等の席上ではもちろんのこと、日々電話やメールで情報交換・情報共有することを大切にしている。本年度も、危機管理の在り方等について、市教委とも連携を図りながら情報共有を図っていく。
- 2 指導用タブレット（chromebook）や校務支援システム（C4th）の活用について、日常的に情報共有を図りながら、効果的活用を推進していく。
- 3 本市の全公立小中学校 28 校がコミュニティ・スクールとして地域に根差した教育課程を編成し、共に児童・生徒を育成している。先進的実践校区の成果や課題を共有し、校長会としても市教委と連携をして、各学校の実態に応じた実効的な運営の在り方について検討を継続していく。
- 4 「立川市民科」の教科化が一昨年度よりスタートした。市教委と連携してより有効な実践を図っていく。